

現代人の健康とアルメニア産の乳酸菌

長寿社会を迎え、現代人の健康志向はいよいよ高まり、ヨーグルトを常食するなど乳酸菌ユーザーが定着している。日本ではあまり知られていないアルメニア産の乳酸菌にスポットを当てた。

腸内細菌について

奥村 腸内細菌は善玉菌・悪玉菌・日和見菌のバランスが大切です。

悪玉菌ばかりでは腸内環境が駄目になりますが、少ないないと腸内環境は成立しません。悪玉菌という名前が悪いですね。

綿貫 乳酸菌の種類は広範囲です。

奥村 そうです、ビフィズス菌やキムチなどに入っている納豆菌などは善玉菌です。

赤ちゃんは乳酸菌の量が多いのですが、成長するにつれ、どんどん減ってくるのに反し、悪玉菌が増えてきます。

赤ちゃんの便はヒトの便の中で

もつとも理想的な便です、ニオイはすつぱく、臭くありません。他の菌が増えてくるとおならや便が臭くなつてきます。

実験したところ、高齢者施設で入居者に乳酸菌をたくさん飲ませるとオムツ交換時のニオイが軽減されました。

高齢者に乳酸菌をたくさん飲ませると、赤ちゃん型になり、便が臭くなくなります。そして長生きもできるはずですよ。赤ちゃん型の便にすることが健康の秘訣です。免疫も強くなります。

ここでは、アトピーに関連した免疫の研究をしています。また乳酸菌の免疫に関する論文を発表しています。

ナリネ菌の故郷

アルメニアは

コーカサスの小国

綿貫 私どもがサプリメントとして販売していますナリネ菌は、抗菌力が強く、腸まで届く乳酸菌です。

奥村 どの乳酸菌ですか？

綿貫 南コーカサスに位置するアルメニア共和国です。

奥村 私が東大にいたときにアルメニアの医師の留学生がいました。非常に優秀で、知的レベルの高さにびっくりしました。





アルメニアハムスター、実験用のネズミはアメリカが交配させて、オスだけを何十万円もの価格で販売しているため、使いたくてもなかなか使えませんでした。そこでアルメニア人の彼に頼んで、つがいを本国から空輸してもらい、日本で繁殖させて、助かりました。アルメニアハムスターでなければできない実験がありますからね。



アルメニアはワインやブランデーが有名ですね。
綿貫 世界で一番古いワイナリーがアルメニアで発見されました。長い歴史のある国です。
人口300万人ほどの小国ですが、国外に出ているアルメニア人の数のほうが多いと言われています。

奥村 ユダヤ人のように、賢い方が多いと聞いていますが。
綿貫 本場に優秀です。シルクロードの交差点であり、東西のいろんな文化交流があり、盛んに交易が行われました。そのような利点もある一方、周囲の大国に翻弄され、過酷な歴史を背負っていたと言われています。

まずナリネ菌の由来についてご紹介いたします。
1953年にアルメニア共和国科学アカデミー微生物研究所の生物学者エルゼンキャンによって孫娘「ナリネ」の胎便から発見された赤ちゃん由来の乳酸菌です。
発見当時アルメニアは、旧ソ連の一員でしたから、ナリネ菌はソ連に管理されて製造されていました。

ナリネ菌は発見から60年以上にわたり、ストレスが多い宇宙飛行士やオリンピック選手、また旧ソ連を構成する国々の人々に親しまれ、健康の維持・増進に用いられていたそうです。
またチエルノブイリ原発事故の被爆者にも投与され、改善が見られたという報告も出ています。

実証研究、論文は200近くあります。WHO（世界保健機構）やロシア科学アカデミー食品研究所では、非常に優れた食品素材として推奨されています。
1991年にソ連が崩壊し、ナリネ菌はアルメニアの企業に帰属、譲渡されました。

1995年に、私たちと一緒に日本でナリネ菌のサプリメントを展開するディラニャン氏、彼が凍結乾燥技術を開発し、粉末にすることができるようになり、いろんな形で摂取することが可能になりました。
アメリカで2007年から販売されている「フルーツ・マックス」は、健康補助食品として厳しいFDA（アメリカ食品医薬品局）の審査をパスしています。

奥村 現在はタブレットで販売されているのですか？
綿貫 カプセルやタブレットです。また原料であるパウダーを数か国に提供しています。
日本では、ナリネ菌はあまり知られていません。その大きな理由は、旧ソ連の中でずっと管理されてきたこと、西側での販売には目を向けなかったことなどが挙げられます。

その後、2000年初頭に日本に入ってきましたが、当時は健康食品というよりも美容のためのサプリメントとして着目され、一時話題になった時期がありました。下火になったという経緯があります。
日本でも、インターフェロンやコレステロールの研究、免疫についても研究されました。
ナリネ菌の抗菌作用は、他の乳酸菌より格段に強いということが報告されています。

奥村 データを見ると桁違いですね。
綿貫 またインターフェロンの産生を高め、生体の免疫力を増強するというのが特徴です。

奥村 データを見ると桁違いですね。
綿貫 またインターフェロンの産生を高め、生体の免疫力を増強するというのが特徴です。

奥村 データがあるからいいですね。

綿貫 エビデンスに基づいて、健康長寿をサポートできるように提供していきたいと考えています。

奥村 ぜひ、やってください。

海外に出かけるときは、皆さん整腸剤（錠剤タイプの乳酸菌）を持っていきますからね。

綿貫 私は22年間アメリカに住んでいましたが、これまでに発展途上国には40〜50か国ほど行きました。

特に東南アジアやアフリカに行くと、水が悪いので下痢をしやすく、整腸剤が欠かせません。水が良いところでも水を入れる容器等の衛生状態が悪いので下痢になります。

奥村 外国の発展途上国の日本大使館では乳酸菌飲料を冷凍保存していて、日本から要人が到着すると、まずその飲料を飲ませるそうですよ。

どんなところで販売されますか？

綿貫 個人販売もしますが、手軽なネット販売は考えておりません。医療機関や調剤薬局、ジムな

どを通して、商品の価値を分かっていたただける方に届けたいと思います。

奥村 いいんじゃないですか。

乳酸菌は摂り過ぎると下痢をしやすいですね。

綿貫 便通の改善に役立ちますが、先生のおっしゃる通り下痢にならないように、その時々体調に合わせて量を調整していただきますね。

奥村 ナリネ菌のサプリメントには、どんなものがありますか。

綿貫 商品は6種類あり、「ピュア・ナリネ」は純正ナリネ菌100%をカプセルに詰めた、ナリネ菌のベーシックサプリメントです。

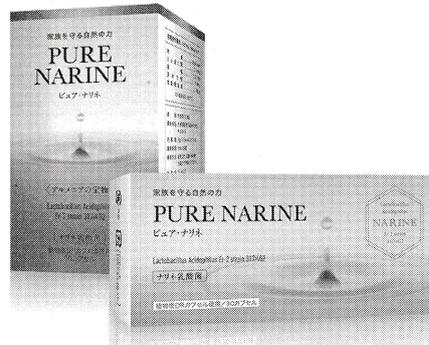
「ナリネーT」は、タブレット型で胃での活躍が期待できます。

「ナリネ・フォルテ」は、ナリネ菌に、ビフィズス菌と大腸菌M-17を加え、三つの善玉菌がしっかりと腸内環境を整えます。

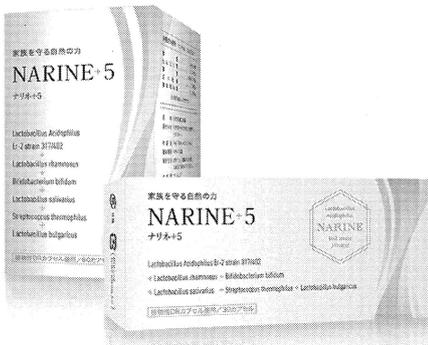
「ナリネ+5」はナリネ菌と相性の良いビフィズス菌・ブルガリア菌・サーモフィラス菌・ラムノサス菌・サルバリウス菌をプラス



ナリネーT



ピュア・ナリネ



ナリネ+5



ナリネ・フォルテ

し、腸内環境を強力にサポートします。「ナリネ・フォルテ」と「ナリネ+5」は、プレミアム商品です。

「フルーツ・マックス」は、一粒に21種類の果物の栄養素を凝縮しナリネを配合した、アメリカで開発されたチュアブル（噛み砕く）



フルーツ・マックスキッズ

従来のサプリメントは、ほとんどが大人用です。最近、日本の子どもに便秘が多いと聞いています。昔は考えられなかったのですが、現在の子は外で遊ばない、塾通いや勉強ばかりしていて体調不良になっていようです。キッズ商



フルーツ・マックス

タイプのサプリメントです。幅広い年代の方の健康維持に役立ちます。「フルーツ・マックスキッズ」は前述のフルーツマックスの子ども用です。お子さんの成長に欠かせない、ビタミンCを配合しています。

品は自然の素材を活かした商品ですから、小児医療の先生からは、子供向けサプリメントとして喜ばれそうだと伺っています。奥村 害がない原料ばかりでいいですよ。

綿貫 こんなにラインナップを充実させたのは日本が初めてです。

今後はさらにナリネ菌を使ったヨーグルトや、ナリネとの組み合わせで、健康を増進するようなアイテムを追加していきたいと考えています。

奥村 どんどんPRして売り上げを伸ばしてください。

綿貫 これから日本は人生100年時代を迎え、健康長寿が求められる中で、奥村先生に支持していただける健康食品の研究を進められる環境づくりが大事ですね。

現在では、アメリカ西海岸にある大学でも研究がされています。今後は国内でも、もっと研究を進めていく環境が整っていけばと願っています。

奥村 なんでもご協力しますよ。綿貫 有難うございます、その節はよろしくお願い申し上げます。

今後の展開

綿貫 日本はこれからますます長寿社会になるにもかかわらず、国家財政が厳しく、医療費は先細りです。

健康は自身できちんと管理することが重要です。

奥村 健康寿命を延ばすには、医療費の削減がもっとも良い方法です。

綿貫 最近は災害が多く、避難所で暮らす人も増えてきており、ここではストレスから体調を崩す人が多いと聞いています。そういうところにナリネ菌のサプリメントを提供したり、基金を創設して支援したいと考えております。

本日は有意義なお話を伺い、有難うございました。

順天堂大学医学部
免疫学特任教授
アトピー疾患研究センター長

奥村 康氏
ヘルス&ウェルネスパートナーズ

株式会社
代表取締役 綿貫雅一氏